

横山俊夫教授

退職記念
講演会

文明学への道



横山俊夫 / よこやまとしお

京都生。京都大学法学士、同 修士、オックスフォード大学哲学博士。
1972年より京都大学に在職。人文科学研究所助手、助教授を経て98年より教授。大学院地球環境学学教授(兼任/2002-'11)、副学長(併任/'05-'08)。鎖国期日本の文明化を、残存する往時の日用百科書の手沢相から検討。日本の旧体験は今後の地球社会のための人類遺産と考える。先端知の意味を考える学内対話処「三才学林」の開設、運営につとめた。おもな著作に、『ことばの力—あらたな文明を求めて』編著(京都大学学術出版会、-2012)、『Even a sardine's head becomes holy...』*Sansai*, No.1, 2006、『貝原益軒—天地和楽の文明学』編著(平凡社、1995)、『視覚の一九世紀—人間・技術・文明』編著(思文閣出版、1992)、『*Japan in the Victorian Mind* (London: Macmillan, 1987) など。



2012年3月14日(水) 14:30~15:50

京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホールIII

問い合わせ=京都大学人文科学研究所総務掛

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL: 075-753-6902

E-mail: zb-soumu@zinbun.kyoto-u.ac.jp http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp

●ご案内=森時彦教授退職記念講演会 2012年3月14日(水) 16:10~17:20 「清末経済思想初探」

